

## 2014年1月18日(土) 「わらしべ長者で多文化交流体験」

わらしべ長者は、一本の“わら”から物々交換をくり返して、最後には長者になってしまうという昔話です。府中市国際交流サロンの外国人とボランティアの方々にご協力いただき、子どもから大人まで楽しめる多文化交流ゲームとしてアレンジしました。

交換していただくのは、物を通して知ることのできる多様な国の様々な文化・価値観です。最初に和紙の折り紙かかわいいキャラクターの付箋のどちらか選んでいただき、これを“わら”の代わりにして、外国人の方との交換が始まります。皆さんに紹介したい出身国の「物カード」を持っています。この「物カード」はとても安価な物から高価な物まで揃っています。何に交換してもらえるかは皆さんのコミュニケーション次第！手元にあるものがどんなに素敵な物か紹介して、別のものと交換していきます。



左はヴェトナムの民族衣装アオザイを紹介しています。右はとてもおしゃれなフィリピンのベッドのカード。野外にも持ち出せるのだとか。



どちらも韓国のブースです。左は料理の紹介中。右はブレイクタイム中。各国のお菓子とお茶をいただきました。



左は台湾ブース。交換した折り紙を手に話が弾みます。右の写真の少年は、最後には大好きな鉄道のカードを手に入れました。



何をどのように交換していったのか…最後に発表してもらいました。

参加者からは「一つ一つの品から各国の文化や生活、お国柄が見えてきて、とても面白かった」「いろんな国の人と話したりできてよかった。」「異文化交流には、とてもよくできたゲームでした。」という声をいただきました。協力いただいた外国人の方々からも、たくさん自国の紹介ができてよかったという感想を頂きました。

今回は韓国・ベトナム・フィリピン・台湾の方に参加していただきました。次回は国数を増やし、さらに楽しく交流できるようリニューアルして開催したいと思います。